

令和7年度 自治会活動表彰

自治会活動事例集



～地域まちづくりノート～

地域への“想い”を綴りました。



みんなでまちづくり課
宇都宮市自治会連合会

はじめに

宇都宮市では、市民協働によるまちづくりを推進しており、特に地域コミュニティの基盤となる自治会が主体的に取り組む活動に対して支援しています。

この一環といたしまして、令和7年度に「自治会活動表彰」を受賞した魅力ある自治会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、この冊子を作成しました。

目次

【令和7年度自治会活動表彰（6自治会）】

| NO | 地区名 | 自治会名 |
|----|-----|--------|
| 1 | 清原 | 道場宿町 |
| 2 | 雀宮 | さつき |
| 3 | 戸祭 | 地区四丁目 |
| 4 | 平石 | 北組 |
| 5 | 陽光 | 江曽島5丁目 |
| 6 | 陽東 | 南中久保 |

清原地区 道場宿町自治会

●加入世帯数：179世帯

●加入率：91.3%

活動内容

道場宿町自治会は、現在自治会長・公民館長・各役員を中心に、年間事業計画を立てて催し物を実施しており、安全・安心で元気で明るく楽しいまちづくりを目的として、町民の皆さんと強い絆作りをしています。

当自治会の活動で特徴的なものは、2つあります。1つ目に、伝統文化保存会活動です。町内には八坂神社、今宮神社、湯殿権現神社の3社があり、古式ゆかしい伝統文化を道場宿町の財産として、次の世代に引き継ぐために活動しています。特に八坂神社例大祭は、毎年7月の第3土・日曜日に活動を行っており、世話人・当番班長・育成会等が企画し、三祖神社の宮司を先頭にお囃子・子ども神輿・大人神輿が町内を渡御し、お赤飯やお清めを頂くなど、毎年賑やかな2日間となります。

2つに防犯協力会の活動です。防犯・防災のため、昼間と夜間にパトロールを行い、安全ベストと拍子木を持って3人1組で町内を巡回し、西ルート・東ルートに分けて町民の安全・安心を守り、コミュニケーションを図っています。

その他は農地水共同事業として、4月から10月の毎月第1、第2、第3日曜日に草刈りやごみ拾いの清掃活動を行い、景観を整備しています。また、

グランドゴルフ・歩け歩け大会・輪投げ・ハーモニカ演奏・アジサイ剪手・親睦旅行等を実施して、親睦を深めています。

加入を維持する取組

地域の伝統文化を次世代に継承しながら、安全・安心なまちづくりに取り組んでおり、お祭りでは、神輿やお囃子を楽しみながら地域の絆を深めることができるほか、防犯・防災パトロールや清掃活動、敬老会や親睦イベントなど、住民同士の交流も盛んで、楽しく暮らせるまちづくりを構築しています。

転入された方には、班長と自治会長で訪問し、自治会資料をもとに丁寧な説明を行い、活動内容を理解していただいた上で加入いただくなど、こうした地道な働きかけが加入率の維持につながっています。



雀宮地区 さつき自治会

●加入世帯数：885世帯

●加入率：90.3%

活動内容

さつき自治会は昭和54年6月に、1,000世帯超でスタートした大きな自治会です。しかしながら、少子高齢化の傾向が顕著になりつつある中で、加入世帯は885世帯にまで減っていますが、会員はもとより、執行部役員を中心に活発な活動を行っており、「安全」・「安心」で「優しさあふれる」自治会運営を目指しています。

「さつきふれあいフェスタ」は、「地域の皆さんのが交流できる機会を作れないうか」という思いから生まれたイベントです。かつて開催されていた「さつき夏祭り」はコロナ禍の影響で中断していましたが、役員の負担軽減を考慮しながら内容を変更し、新たに「さつきふれあいフェスタ」として開催することになりました。会場には、ふわふわドームや警察車両の展示のほか、育成会・長寿会などの皆さんによるかき氷・焼きそば等の模擬店もあり、子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、地域の皆さんとの交流を深めることができました。

また、準備や運営にあたった役員は、宴席を省略するなどの負担軽減を図ることで、大変好評でした。

その他の年間行事として、8月は雀宮納涼盆踊り大会、9月はさつき敬老祝賀会（対象者678名）、11月は文化祭、雀宮ちゅんちゅんウォークに参

加（昨年の参加者94名）することが恒例の行事になっています。

加入を維持する取組

当自治会は同好会活動が非常に活発で、①長寿会②さつき街づくり③花のボランティア④そば打ち同好会⑤将棋同好会⑥麻雀同好会⑦健康体操⑧ヨガ体操⑨手芸⑩ウォーキング等々20を超える同好会があり、会員の皆さんの交流と親睦の場になっています。

また、さつきいきいきサロンとしてお茶飲み会・映画会・歌いましょう会などもあり、活発に活動を続けています。

当自治会では発足当初から自治会費（月額600円）の徴収は年2回に分け銀行自動引き落としにしているほか、年度途中の入会や退会についてマニュアル化しているなど、支障なく運営でています。（振替対象者100%）

また昨年度より、地域団体への会費や募金の納入の際、銀行に対し手数料を支払うことになりましたが、当自治会ではいち早くネットバンキングを導入し、振込手数料の縮減や役員業務の軽減に役立てています。



戸祭地区 地区四丁目自治会

●加入世帯数：300世帯

●加入率：85.9%

活動内容

地区四丁目自治会は、20名の役員にて運営しています。自治会の下部組織である育成会の会長は、自治会の理事を兼務し自治会と育成会のパイプ役となっています。育成会会長を退任後も自治会役員に残留していただき、役員の世代交代、活性化に努めています。

また、「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」を活用して「さあどうする？いつ起るか分からない地震」というタイトルの防災マニュアルと地図の作成に取り組んでいます。

防災地図には、育成会の子ども達と自治会内を調査し、危険箇所、消火栓やAED等の設置場所の情報を掲載しました。また、防災マニュアルは、自治会役員のほか住民及び近隣の専門学校等にも参画をいただき、子どもからお年寄りまで誰が見ても分かるよう、原案を基に専門大学生と連携し、可愛い図を多用したマニュアルとしました。

作成開始時は「防災マニュアル作成キックオフ会」、完成時は「防災マニュアル完成報告会」を開催し、会員に報告するとともに、本マニュアルを全世帯（非加入世帯を含む）、近隣自治会、団体等に配布するほか、まちづくり協議会のホームページ等にも掲載しています。

加入を維持する取組

地区長さん、班長さんに担当エリアの住民の情報をいただき、非加入者や転入者に対して、自治会入会を勧めています。

また、作成した防災マニュアルを自治会非加入者にも周知することで、自治会大切さや重要性を知っていただき、自治会の活性化及び新規会員入会に取り組んでいます。



マニュアル完成披露会記念写真（育成会の子供達と）



防災マニュアル (A3版)

平石地区 北組自治会

●加入世帯数：55世帯

●加入率：82.1%

活動内容

北組自治会は、平石地区の北西部に位置し、市街化調整区域の農村地域で専業農家1件・兼業農家17件・非農家37件の自治会です。我が自治会のスローガンは、「自治会の和を大切にし、一緒に行動しよう」とし、次のような活動を実施しています。

(1) 6年前から班長及び自治会役員の免除と自治会費の軽減(80歳以上で収入が年金のみ及び身体の障害)により、地元は地元同士で助け合い・楽しい自治会を目指して、脱会防止をしています。

(2)多面的機能支払チームとコラボして、農道の草刈り(年5回20人前後参加)及びサツマイモの栽培を行い、年1回子ども会及び老人会も参加して、地域交流会を行っています。(交流会内訳はバーベキュー・やきいも・ゲーム等)そこで、子どもと年寄りの交流を深めるほか、地域の問題点などを皆様で話し合いを行い、住みよい町を考えています。(参加人数35名～40名前後)

(3)地域の伝統行事として、年1回(天祭30名前後・どんどん焼きは子ども～お年寄り及び地域の社会福祉施設の参加もあり60名前後参加)及び年3回に1回平出神社梵天祭り奉納(準備50名・神社へ奉納65名参加子ども会も含む)を行い、自治会員同士で顔と名前の分かる自治会を目指しています。

加入を維持する取組

自治会の回覧にて、行事の内容や参加しやすい文章やイラストを考えています。自治会役員及び班長さんは、会員と道端等でお会いした時は、行事の参加のお願いや現在の地域の情報のやり取り等を行い、自治会員の自治会運営に対する考え方等を、役員が把握して和のある自治会を目指しています。地道な活動が実を結び、令和6、7年に各1名いた退会者が、再度自治会に入会してくれたケースもありました。



陽光地区 江曽島5丁目自治会

●加入世帯数：141世帯 ●加入率：57.6%

活動内容

今年で設立50年を迎える我が江曽島5丁目自治会は、陽光地区の自治会として現在141世帯が自治会に加入しています。地区内では一番加入世帯が少ない自治会ですが、陽光地区で催されるふるさと陽光まつりや冬まつり（どんど焼き）、地区体育祭や球技大会などに多くの人が積極的に楽しみながら参加し、イベントを盛り上げておりチームワークの良さが強く感じられる自治会です。

自治会独自の活動としては、月1回公園の清掃活動・美化活動を実施しています。ただ、草むしりを実施するだけだと大変さが先行してしまうので、くじ引きや炊き出し訓練などを織り交ぜて楽しく実施することで、より多く参加する工夫をしています。秋には子ども会育成会が中心となりハロウィーンイベントを実施して、お年寄りから子どもまで親睦を深めています。また、50周年を記念したイベントを開催する予定で、自治会の役員や育成会、元気会とどのような内容にするか協議を進めています。

加入を維持する取組

ここ数年は新築の戸建て住宅がなく自治会の加入にはほとんど増減はありません。ただし、昨今の高齢者のみの世帯は当自治会でも増加傾向にあります。

回覧や役員・班長、福祉協力員などの呼びかけで、お年寄りから子どもまで気兼ねなく参加できるイベントを企画し、自治会への関心を持っていただき、とにかく「明るく楽しい！江曽5」を前面に押し出して「住んでいて良かった」と思える自治会を目指しています。



陽東地区 南中久保自治会

●加入世帯数：248世帯 ●加入率：59%

活動内容

南中久保自治会は、鬼怒通りのライライン「陽東3丁目停留場」を中心として東西南北に広がり、戸建て住宅と多くのマンション、アパートが混在する地区です。自治会の事業・活動は、「絆」と「ふれあい」をモットーに会員間の交流を深めるため、役員・理事・子ども会が中心となり、会員や自治会内の二つの福祉施設と協力し、公民館を拠点に次のような事業を実施し、安全・安心なまちづくりに努めています。

◇環境美化（リサイクル部）では、自治会所有の軽トラックを活用し、ごみステーションの巡回点検を実施しています。また、子ども会と協力し、月1回の集団資源ごみ回収を行うほか、会員が自由に資源ごみを持ち込める倉庫を公民館に設置して資源ごみの回収に努め、年間30万円の収入を得て、自治会事業・活動の費用に充てています。

◇ふれあい祭り・新年餅つき（文化部）では、毎年11月、自治会区域内の「老人福祉施設」・「保育園」と共催で「ふれあい祭り」を実施しています。模擬店、演芸等で交流を深めるとともに、会員には自治会が借用している畑で栽培した大根200本を配り、未加入者にも加入促進のパンフレットと大根を配つて加入促進に努めています。有志によるそば店（模擬店）も好評で、自治会外

からも来店があり、来場者は300人を超えてます。

新年餅つきは、子どもや若い世代も参加し、新年会と併せて実施しており、若い世代との交流の促進に役立っています。

◇栽培部では、野菜栽培が得意な役員の指導のもと、春には自治会が借用している畑で子ども会と協力し、ジャガイモの種芋植えと収穫を実施しています。秋には大根を栽培し、ふれあい祭りで来場者に配布して交流の深化に貢献しています。

◇福祉では、公民館で高齢者向け健康新体操（サロン）を月2回実施しているほか、老人福祉施設の「地域交流棟」で、隣接自治会と共同で高齢者の集いサロンを月2回実施しています。

また、月1回近隣自治会の有志により、地域交流棟で開催されている「思いやり食堂（子ども、高齢者対象）」にスタッフとして参加し、来場する高齢者等とのふれあいを通じて日常生活の確認を図っています。

民生委員、福祉協力員、役員により、高齢者の見守り会議を定期的に開催し、日常の健康と災害時の避難支援の確認を実施しています。「陽東地区災害時避難訓練」に積極的に参加し、高齢者等の安否確認や避難支援の訓練を実施しています。

◇防犯・防災部では、自治会、子ども会で月1回、徒歩で自治会内の環境パトロールを実施し、ごみ拾いと道路等の安全点検を実施しています。また、老人福祉施設と防災協定を結んでいるほか、年1回、老人福祉施設・保育園・自治会が災害時の相互協力の確認を行っています。

◇デジタル化の推進では、指導資格を持つ会員を講師にスマホ教室の実施について協議中です。

加入を維持する取組

自治会区域内の戸建て住宅は、概ね自治会に加入しています。マンション、アパートが全部で31棟ありますが、すべて賃貸住宅で、住人の出入りが激しい状況です。たまたま自治会活動に積極的に参加してくれた会員もいましたが、転勤で脱会、市の補助金を受けてマンションに引っ越してきた夫婦も会社の異動により1年で転居しました。ふれあい祭りへの招待や加入促進チラシをポスティングしていますが、中々効果が出ません。

こうした中、最近若い家族3世帯から、住宅に係る市補助金申請のため、宮P A S S発行の申請があり、自治会加入につながりました。こうした宮P A S S効果により、自治会加入率が少しでも上がるよう期待しています。



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA